

財団シンボルマーク



平成13年度

アイヌ語ラジオ講座 テキスト

4月▶6月

2001

Vol 1
(Part 1)

●STVラジオ平成10年4月12日より放送中●

◆本放送

毎週日曜日 あさ 6:45～7:00

◇再放送

毎週土曜日 よる 23:15～23:30

財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構

講師のプロフィール



おおすが りえ子 大須賀 るえ子

北海道白老町白老コタン生まれ。
白老のインクウ(名獵師)宮本エカシマトクの孫として、
アイヌ文化に触れながら育つ。

後に家業の民芸品店を手伝う傍ら、伝統的な作品を
制作。白老アイヌ文化伝承教室講師を長年務め、白老
アイヌ語教室には開設時より通う。

現在、白老アイヌ語教室講師。刺しゅうサークル「フッ
チコラチ」代表。

協力者の紹介

おか だ みち あき 岡 田 路 明

札幌市生まれ、現在は白老町在住。このテキストの原稿執筆を担当。

【テキストの表記法について】

現在のところアイヌ語には共通語というものはなく、それぞれの地域でそれぞれの
方言が学ばれています。そのため、このテキストでは担当講師の方言(白老の方言)
をベースにしています。

アイヌ語ラジオ講座の スケジュール表

月	回	日	テ - マ
4月	1	1日	アイヌ語の発音について1
	2	8日	アイヌ語の発音について2
	3	15日	アイヌ語の語順
	4	22日	否定文は語順が逆になります
	5	29日	簡単な言葉1「挨拶」
5月	6	6日	「私・あなた」が必要です
	7	13日	「が、に、を」がありません
	8	20日	動詞に過去と未来の違いはありません
	9	27日	簡単な言葉2「自己紹介」
6月	10	3日	「～しない」「～ではない」の語順
	11	10日	「～しましょう」
	12	17日	「～したい」
	13	24日	簡単な言葉3「お礼」

Lesson 1

アイヌ語の発音について 1

1：母音はアイウエオの5つで、発音は日本語と大体同じです。“ウ”の発音だけは少し違い、ウとオの中間のような発音になりますが、日本語と同じ発音でも問題ありません。

2：日本語の音と同じように、カ行音からワ行音までの音と、パ行音、チャ行音があります。ただし、日本語の音とは少し違いがあります。

タ行音に“ツ”の音はありません。その代り、“トゥ”の音があります。日本語にはない発音ですが、英語のtwo(トゥー)に近い音です。

トゥイ「切れる」、ウトウラ「一緒に」、トゥトゥッ「ツツドリ」

ヤ行音には、日本語にはない“イエ”の音があります。

イエ「言う」、レイエ「這う」、シヌイエ「入れ墨」

ワ行音にも、“ウェ”と“ウォ”の音があります。

ウェンコ「とても良い」、ウォセカムイ「オオカミ」

3：半濁音(パ行音)とカ行音、タ行音は、濁音で発音されることがありますが、意味は変わりません。

ユボ「兄」→ユボ、サパンベ「幣冠」→サパンベ、スンケ「嘘」→スンゲ、
ブクサ「ギョウジャンニク」→ブクサ→ブグサ

4：サ行音は、シャ行音に発音されることがありますが、この場合もどちらで発音しても意味は同じです。

サンペ「心臓」→シャンペ

アイヌ語の解説

1：母音は日本語と同じ数ですので、それほど難しくはありません。イとウは、母音の後に来ると軽く発音される傾向がありますが、普通に発音しても意味的には変わりがないので、このテキストでは扱いません。

2：

“ツ”の音はありません。そのため、日本語から入ってきた言葉、例えば杯(つき)は“トゥキ”と発音します。また、“ツ”の濁音“ヅ”や“ズ”もなく、小豆は“アントウキ”と発音します。

“イエ”の発音は、“イエ”一音ならそれほど難しい発音ではありませんが、“カイエ”などのように、他の音の後ろに来るとかなり難しい発音になり、“カエ”もしくは“カイエ”の発音になってしまいますので、注意が必要です。

“ウェ”“ウォ”は、日本語の中では言葉としては使われていませんが、擬声語として使われますので、それほど難しくはありません。子供の泣く声「ウェーン」とか、オオカミの吠える声「ウォー」などの擬声語に近い音です。アイヌ語の「ウォセカムイ」も、元は「ウォーと言う＝遠吠えする・神」という意味で、鳴き声の擬声音からできた言葉です。

3：アイヌ語では、半濁音や清音を、濁音で発音しても意味は同じです。日本語では「がっこう」と「かっこう」は全く違う意味ですが、アイヌ語では「ブクサ」も「ブグサ」も同じ意味です。濁音の発音は、お年寄りなどに多く見られますが、どちらかが正しく、どちらかが間違っていると言うわけではありません。近年は年齢を問わず、濁音での発音が増えています。特に半濁音は濁音に発音される傾向が強いです。

4：サ行音がシャ行音に発音されるのは、濁音の例程には一般的ではありません。また、地方や人によっても差があって、白老では比較的多いようです。

アイヌ文化の紹介

普段着とモウル(女性の肌着)

普段はほとんど模様のない和服に近い着物を着ていました。前開きですから、かるく合せて細い紐で腰紐のようにして縛っていました。

また、女性はモウルという肌着を着けていました。

Lesson 2

アイヌ語の発音について 2

アイヌ語のつまる音は、日本語のつまる音と少し違います。日本語のつまる音は、次にどの音の音に来るかによって発音が決まりますが、アイヌ語では次の音に影響されことなく発音されます。

小さい「ッ」。日本語の、た行音の前に来る「っ」と似ています。日本語の「圧倒」を「あっ」で止めたときに近い発音です。

アッ「紐」、フッチ「お婆さん」、ニツネ「硬い」、サッケ「干す」

小さい「ク」。日本語のか行音の前に来る「っ」と似ています。「漆器」を「しっ」で止めたときに近い発音です。

シク「目」、オッカヨ「男」、ウク「受け取る」

小さい「フ」。日本語のば行音の前に来る「っ」と似ています。「説法」を「せっ」で止めたときに近い発音です。

セブ「幅広い」、ミフボ「孫」、スフキ「アシ」

小さい「シ」。日本語のさ行音、特に「し」の前に来る「っ」と似ています。「発車」を「はっ」で止めたときに近い発音です。

ハシ^{かんぼく}「灌木」、ケシト「毎日」、イルシカ「怒る」

小さい「ム」。日本語の、ま行音やば行音などの前に来る「ん」と似ています。「研磨」「乾杯」を「けん」「かん」で止めたときに近い発音です。

ケム「血」、カム「肉」、コムケ「曲がる」

小さい「ラ、リ、ル、レ、ロ」。日本語には、似ている音がありません。ラ、リ、ル、レ、ロをはっきり発音せずに、あいまいに発音します。

アラカ「痛い」、キキリ「虫」、クルキ「えら」、テレケ「跳ねる」、ホロカ「後戻りする」

アイヌ語の解説

日本語のつまる音は、どの音の前でも全て「っ」で書き表します。そして、それを話すときには、次にどの音の音に来るかによって、意識することなく発音を使い分けています。アイヌ語のつまる音は、次にどの音の音に来るかによって決まるわけではないので、つまる音を意識的に使い分けなくてはなりません。例えば「サッケ」「サッケシ」「サブケ」は、似た発音をしますが、どれも違う意味の語なので、使い分けなければなりません。

小さい「ッ」

日本語の表記でも使われますので、それほど難しい発音ではありません。特にタ行音の前では、意識せずに発音してもこの音になります。ただし、他の音の前では少し難しく、厳密に言うと、小さい「ッ」では発音されません。多くの場合、「トゥ」を軽く発音した音に近くなります。例えば「ニツネ」は、「ニツトゥネ」の「トゥ」を軽く発音しながら早口で言うと、近い音になります。

小さい「ク」

カ行音の前では、それほど意識せずに発音しても、この音に近い発音になりますが、他の音の前では少し発音しにくくなります。特に、タ行音の前では、小さい「ッ」になりがちなので、注意が必要です。

小さい「フ」

バ行音の前では、意識せずに発音しても、この音に近い発音になりますが、他の音の前では少し発音しにくくなります。特にカ行音の前では発音しにくいので、注意が必要です。

小さい「シ」

語に含まれる場所によって、小さい「ス」で発音されることも多い音です。「アシサプ」は「アスサプ」に、「イルシカ」も「イルスカ」に発音されることがあります。

小さい「ム」

「ン」との使い分けが面倒です。例に挙げた「コムケ」も、「コンケ」と発音されがちですが、「ム」と「ン」では意味が違いますので、注意が必要です。例えば、「カム(肉)」を「カン」と発音すると、「上の」という意味になります。

小さい「ラ、リ、ル、レ、ロ」

日本語にはなく、始めは少し発音しにくいかもしれませんが、それほど難しい発音ではありませんので、少し練習すれば発音できるようになります。例に挙げたように、前の音が「あ」の段であれば「ラ」に、「い」の段であれば「リ」に、というように、前の母音に影響されて発音されることが多いのですが、話す人によっては、全て「ル」で発音することもあります。

アイヌ文化の紹介 履き物

夏はほとんど裸足で過ごしましたが、冬山の猟のときは鮭皮製の靴の中に、ポプケキナ(オオカサスゲ)を入れて履いていました。

また、ぶどうの蔓で作った草履も利用していました。

Lesson 3

アイヌ語の語順

例 文

1. リー ヌプリ。
ri nupuri .
高い 山
2. ポロンノ ウパシ アシ。
poronno upas as .
沢山 雪 降る
3. ピリカ ノンノ ヘピラサ。
pirka nonno hepirasa .
美しい 花 咲く
4. キム ペカ キムンカムイ アプカシ。
kim peka kimunkamuy apkas .
山 を 熊 歩く
5. チャテク カ タ チカプボ ポロンノ ロク。
catek ka ta cikappo poronno rok .
木の枝 上 に 小鳥 沢山 留まる

日本語訳

1. 高い山。
2. 沢山雪が降った。
3. 美しい花が咲いた。
4. 山を熊が歩く。
5. 小鳥が木の枝の上に沢山留まっている。

単語

- リ [高い]
- ポロンノ [沢山]
- アシ [降る]
- ノンノ [花]
- キム [山]
- キムンカムイ [熊]
- チャテク [木の枝]
- タ [(一定の場所を指して) ~に]
- ロク [座る、とまる (複数)]
- ヌプリ [山]
- ウパシ [雪]
- ピリカ [良い、美しい]
- ヘピラサ [咲く]
- ペカ [(広がりのある場所を指して) ~を、~に]
- アプカシ [歩く]
- カ [~の上]
- チカプボ [小鳥]

アイヌ語の解説

アイヌ語の語順は、日本語の語順に似ていますので、日本語を話すことのできる方が、アイヌ語を覚えようとするときには、他の言語を話される方よりは覚えやすいでしょう。

例文のように、話そうとする内容に沿って単語を並べると、基本的にはアイヌ語の文章になります。ただし日本語にはない難しさも沢山ありますので、アイヌ語を正しく話そうとすることは、簡単ではありません。例文は日本語に沿って単語を並べるだけでアイヌ語になる文章にしていますが、実はこちらの方が難しく、普通に思い浮かぶ日本語の文章をアイヌ語にすると、日本語の語順とは違ってしまいうことも多いのです。

日常会話ができるようになるには相当の努力が必要ですが、上述のように日本語に似てはいますので、他の言語を会得するよりは覚えやすいでしょう。

MEMO

アイヌ文化の紹介

アットゥシ(樹皮衣)とテタラペ(草皮衣)

アイヌ民族は自然から衣服の素材を求め、加工して着ていました。
また、縄、紐、袋物などの道具も作って大いに活用しました。



▲アットゥシ

Lesson 4

否定文は語順が逆になります

例 文

1. タン セタ ソモ ミク。
tan seta somo mik .
この 犬 ない 吠える
2. レタッチリ チェブ ソモ エ。
retatcir cep somo e .
白鳥 魚 ない 食べる
3. シケレペ ソモ エ エ ヤク ウェン ナ。
sikerpe somo e e yak wen na .
キハダの実 ない あなた 食べる ~したら 悪い よ
4. ヌマン クシロ オルン ソモ ク オマン。
numan kusiro orun somo ku oman .
昨日 釧路 ~へ ない 私 行く
5. イテキ ウコイキ。
iteki ukoyki .
~するな 喧嘩

日本語訳

1. この犬は吠えない。
2. 白鳥は魚を食べない。
3. キハダの実を食べなきゃ駄目だよ。
4. 昨日、釧路へは行かなかった。
5. 喧嘩をするな。

単語

- タン [この]
- ソモ [~しない、~でない]
- レタッチリ [白鳥]
- エ [食べる]
- ヤク [~したなら]
- ナ [~だよ]
- オルン [~へ]
- オマン [行く (単数)]
- ウコイキ [喧嘩]
- セタ [犬]
- ミク [吠える]
- チェブ [魚]
- シケレペ [キハダの実]
- ウェン [悪い]
- ヌマン [昨日]
- ク [私]
- イテキ [~するな]

アイヌ語の解説

日本語の語順と違うものの一つに、否定の表現があります。日本語では「食べない」「行かない」などのように、動作を表す語(動詞)「食べる」「行く」の後に「ない」を付けて否定の表現をしますが、アイヌ語では動詞の前に「ソモ」を付けて否定の表現をします。ただし、日本語のように「ない」を付けるときに動詞の語尾が変化をすることはなく、「ソモ」が付いても「エ」や「オマン」という動詞に変化はありません。

また、禁止を表現するときも、否定と同じように禁止を表す「イテキ」という語を動詞の前に付けます。

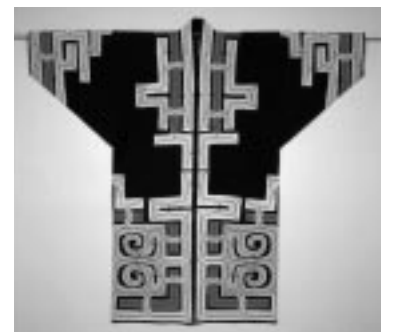
MEMO

アイヌ文化の紹介

木綿衣

木綿生地が入手されるようになると、その地域の特徴のある模様入りの晴れ着、ルウンペ、チカラカラペ、チヂリ、カバラミフなどが作られるようになりました。

女性は幼児期の遊びの中で、その美しい模様を描く練習をしていたといえます。



▲ルウンペ

Lesson 5

簡単な言葉1「挨拶」

例 文

1. イランカラプテ。
irankarapte .
こんにちは
2. イワンケノ アン ナ。
iwankeno an na .
元気良く いる ~よ
3. ランマカ アン ナ。
ranmaka an na .
変わりなく いる ~よ
4. タント シリピリカ ワ。
tanto sirpirka wa .
今日 天気の良い よ
5. エカシ イワンケノ オカイ。
ekasi iwankeno okay .
お爺さん 元気良く いる

日本語訳

1. こんにちは。
2. 元気でいたかい。
3. 変わらないかい。
4. 今日は天気が良いね。
5. お爺さん、お元気ですか。

単語

- イランカラプテ [挨拶の言葉]
- アン [いる、生活している (単数)]
- タント [今日]
- ワ [~よ、~ね]
- オカイ [いる、生活している (複数)]
- イワンケノ [健康で、元気良く]
- ランマカ [変わりなく、相変わらず]
- シリピリカ [天気が良い]
- エカシ [お爺さん]

アイヌ語の解説

アイヌ語の中には、日本語の「こんにちは」にあたる言葉はありません。「イランカラプテ」は、とても丁寧な挨拶言葉です。滅多に合うことのない人や、初めて合った人と挨拶を交わすときに、相手に対する尊敬を表す動作を伴って使われました。本来は男性のみが使う言葉なのですが、最近は男女の別なく、日本語の「こんにちは」と同じ感覚で使われます。かつての社会では、日常の生活は小さなコタン(村)の中で営まれましたので、コタン中が家族のようでした。ですから、改まった挨拶は必要としていなかったのです。

親しい仲で、何日かぶりに顔を合わせたときなどは、「元気でいたかい」とか「天気が良いね」のように簡単な言葉を交わしました。「元気でいたかい」のような挨拶をするときは、語尾を上げて発音します。また、相手が尊敬すべきお年寄りのような場合には、相手が一人でいても、複数型の動詞を使って挨拶をします。

いくら親しい仲とはいえ、いきなり家の中へ入り込むことはできません。そこで、人の家を訪ねるときは、入り口に立って自分が来ていることを、知らせなければなりません。その方法は、男性なら軽く咳払いをします。女性は咳払いではなく、咳払いの声を模して「オフオフ」とやさしく言います。そうすると、家人が聞き付け、招き入れてくれます。

MEMO

アイヌ文化の紹介

サパシナ(鉢巻)とサパンペ(幣冠)

男女とも日頃からサパシナ(鉢巻)をしていました。サパシナは労働のときなど髪の手が乱れない効果もありました。黒い布で長方形に作られたものが多く、チパヌブあるいはセンカキと呼ぶ地方もあります。文様のあるものは、マタンブシと呼ばれることが多いようです。

また、男性はバンダナのように鉢巻もしましたが、祭事ときにはサパンペ(幣冠)をかぶりしました。



▲マタンブシ

Lesson 6

「私、あなた」が必要です

例 文

1. オタル オルン ク オマン。
otaru orun ku oman .
小樽 へ 私 行く
2. ワッカ ク ク。
wakka ku ku .
水 私 飲む
3. テエタ オルシペ ク イェ クス エ ヌ。
teeta oruspe ku ye kusu e nu .
昔 話 私 言う ので あなた 聞く
4. ユカラ エン ヌレ。
yukar en nure .
ユーカラ 私に 聞かせる
5. ホユッパ アン マ パイエ アン。
hoyuppa an wa paye an .
走る 私たち て 行く 私たち

日本語訳

1. 小樽へ行きます。
2. 水を飲みます。
3. 昔の話をするので聞きなさい。
4. ユーカラを聞かせて。
5. 走って行こう。

単語

- ワッカ [水]
- テエタ [昔]
- イェ [話す]
- エ [あなた]
- ユカラ [物語 (ユーカラ)]
- ヌレ [聞かせる、教える]
- ワ [~して]
- アン [私たち]
- ク [飲む]
- オルシペ [~の話]
- クス [~するので、するから]
- ヌ [聞く]
- エン [私に]
- ホユッパ [走る (複数)]
- パイエ [行く (複数)]

アイヌ語の解説

アイヌ語には、「誰がそれをしたか」を表す言葉が必要です。日本語で「水を飲みます」と言うときに、「私が」とか「私たちが」と「誰がそれをするのか」という言葉を入れなくても意味は通じますが、アイヌ語では「誰が」という言葉がないと意味が通じないことすらあります。例えば、「トペンペ チ エ」と「トペンペ ア エ」は両方とも「私たちはお菓子を食べます」という意味ですが、前者は話しかけている相手は含まれず、後者は話しかけている相手も含めての私たちという話しになりますので、前者だと話しかけられた人は、お菓子を食べられないことになってしまいます。

日本語では「誰が(人称接辞)」について、あまり注意を払わずに話されますが、アイヌ語では大切なことですので、少し難しいかもしれませんが十分注意して覚えてください。

MEMO

アイヌ文化の紹介 農 耕

カッコウが鳴く時期になると、畑を耕す準備に取り掛かります。粟や稗あわ ひえはずいぶん昔から栽培していました。芋、豆、黍、菜きび葉類もたくさん栽培しました。

Lesson 7

「が、に、を」がありません

例文

1. スマ ハチリ。
suma hacir .
石 落ちる
2. チプ ヤンケ。
cip yanke .
舟 陸に揚げる
3. チャペ チェプ エ。
cape cep e .
猫 魚 食べる
4. ルル イタンキ オマレ。
rur itanki omare .
汁 椀 入れる
5. チロンヌプ エルム コイキ。
cironnup erum koyki .
キツネ ネズミ 捕る

日本語訳

1. 石が落ちた。
2. 舟を陸に揚げる。
3. 猫が魚を食べた。
4. 汁を椀に入れる。
5. キツネがネズミを捕った。

単語

- スマ [石]
- チプ [舟]
- チャペ [猫]
- イタンキ [椀]
- チロンヌプ [キツネ]
- ハチリ [落ちる]
- ヤンケ [陸に揚げる]
- ルル [汁物の料理]
- オマレ [入れる]
- エルム [ネズミ]

アイヌ語の解説

アイヌ語には「が、に、を」がありません。ですから、例文のように「猫が魚を食べた」というときも、「猫魚食べた」のように言葉を並べるだけで意味が通じます。また、日本語でも「魚を猫が食べた」という言い方をしても意味が通じるように、話の内容によっては「チェプ チャペ エ」と言っても「魚を猫が食べた」という意味になり、話しが通じます。ただし、「チカプ チャペ エ」のような話しは、「鷺が猫を食べた」とも「鳥を猫が食べた」とも取れますので、普通には「～が～を～した」の順に並べて話しをする方が良いでしょう。

例文のように「が、に、を」にあたる言葉はないのですが、それ以外の「の、で、は」などの言葉は全てあります。単に名詞や動詞などの単語を並べると、アイヌ語が成立する訳ではありません。

MEMO

アイヌ文化の紹介 食料の保存方法

その材料によってゆでて干したり刻んで生で干したりしますが、すべて無駄にすることなく感謝しながら食べました。その他に焼き干し、薫製、発酵などの方法がありました。

Lesson 8

動詞に過去と未来の違いはありません

例 文

1. アプト アシ。
apto as .
雨 降る
2. ピシ タ サン。
pis ta san .
浜 に 出る
3. チセ ク カラ。
cise ku kar .
家 私 作る
4. ヌマン ポロ チェブ ク ペライカラ。
numan poro cep ku peraykar .
昨日 大きい 魚 私 釣る
5. ニサッタ ウナルペ エク。
nisatta unarpe ek .
明日 おばさん 来る

日本語訳

1. 雨が降る / 降った。
2. 浜へ出る / 出た。
3. 私は家を建てる / 建てた。
4. 昨日、私は大きな魚を釣った。
5. 明日、おばさんが来ます。

単語

- アプト [雨]
- タ [~に]
- チセ [家]
- ヌマン [昨日]
- ペライカラ [釣る]
- ウナルペ [叔母]
- ピシ [浜]
- サン [下る、出る]
- カラ [作る、建てる]
- ポロ [大きい]
- ニサッタ [明日]
- エク [来る]

アイヌ語の解説

動きを表す言葉(動詞)には、過去や未来の使い分けがありません。ですから、例文のように「アプト アシ」は「雨が降った」とも「雨が降る」とも解釈することができます。それでも、普通は話しをしている状況で判断できますので、不都合はありません。

もし、それがいつなのかを言い表したいときは、「昨日」とか「明日」という言葉を付けると、的確に表現することができます。また、別の言葉を付けて、過去や現在、未来を表現する方法もあります。

MEMO

アイヌ文化の紹介 山菜採取

5月初旬になると、雪の解けた間からプクサ(ギョウジャニンニク)やプクサキナ(ニリンソウ)が顔を出してきます。この時期になると、仲間を誘ってわくわくしながら山へ向かいます。

簡単な言葉2「自己紹介」

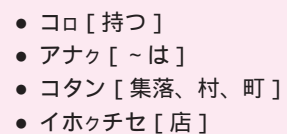
1. ク コン レヘ オオスガ ク ネ。
ku kor rehe oosuga ku ne .
私 持つ 名前 大須賀 私 です

2. クアニ アナク オオスガ ク ネ ルウエ ネ。
kuani anak oosuga ku ne ruwe ne .
私 ~は 大須賀 私 です だよ です

3. シラオイ コタン オッタ ク アン。
siraoi kotan otta ku an .
白老 町 ~に 私 いる

4. ポロト オッタ イホクチセ ク コロ ワ アン。
poroto otta ihokcise ku kor wa an .
ポロト ~に 店 私 持つ て いる

1. 私の名前は犬須賀です。
2. 私は犬須賀というものです。
3. 白老町に住んでいます。
4. ポロトにお店を持っています。



- レヘ [~ の名前]
- ルウェ ネ [~ ですよ (断言する)]
- オッタ [~ に、 ~ へ]

かつてのアイヌ文化の中では、初めて合った人との自己紹介は大きな意味を持っていました。特に男性間では、挨拶の儀礼の中で自分の正体を詳かにすることを目的に、家系を初めとする全てのことが話されました。

現在の自己紹介は、名前や趣味、職業などを話すのが一般的ですが、これをアイヌ語だけで話すのは少し難しくなっています。趣味や職業を表す言葉はあまりありませんが、そのようなときは、現在使われている言葉を使うと良いでしょう。例えば、趣味の欄によく書かれる「読書」などは「ドクショ」のまま話しても意味は通じるでしょう。

This image shows a full page of white paper with horizontal dashed lines, typical of primary school handwriting practice paper. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

主食はオハウという今の三平汁のような汁物です。魚、肉、野菜となんでも具に使い、栄養たっぷりの具たくさんのお汁でした。他には、サヨというおかゆもありました。

薄い塩味で栄養のある食品を摂っていたので、昔のアイヌの人は体格が良かったそうです。

Lesson 10

「～しない」「～ではない」の語順

例 文

- 1 . ク オイラ カ ソモ キ。
ku oyra ka somo ki .
私 忘れる も ない する
- 2 . ク コロ サボ スケ カ ソモ キ。
ku kor sapo suke ka somo ki .
私 の 姉 炊事 も ない する
- 3 . ク イク カ ソモ キ。
ku iku ka somo ki .
私 飲酒 も ない する
- 4 . タンペ ユク カム カ ソモ ネ。
tanpe yuk kam ka somo ne .
これ 鹿 肉 も ない ですよ
- 5 . ウウエペケレ アナク スンケ ハウエ カ ソモ ネ。
uwepeker anak sunke hawe ka somo ne .
ウウエペケレ は 嘘 話し も ない ですよ

日本語訳

1. 私は忘れません。
2. 私の姉は料理をしません。
3. 私はお酒を飲みません。
4. これは鹿の肉ではないですよ。
5. ウェペケレは嘘の話ではないですよ。

單語

- オイラ [忘れる]
- キ [~する]
- スケ [炊事、料理]
- タンペ [これ]
- カム [肉]
- ウエペケレ [昔話し。事物の由来などを題材にした物語]
- ハウエ [~という話し]
- カ [~も]
- サポ [姉]
- イク [飲酒]
- ユク [鹿]
- ネ [~ですよ]
- スンケ [嘘]

アイヌ語の解説

「ソモ」を用いた否定文の作り方は以前に説明しましたが、同じ意味になる表現がもう一つあります。こちらは**動詞の後に付きますので、語順は日本語と同じになります**。「～カ ソモ キ」は「～も ない する」という意味になりますが、「ソモキ」は「～しない」という一つの単語ともとれますので、例文のように「ク オイラ カ ソモキ」は「私は忘れることもない＝私は忘れない」となり、日本語の語順と同じになります。

また、「～ではない」という表現は、「～カ ソモ ネ」という言葉を使います。 付く場所は「～カ ソモ キ」と同じ場所です。この表現は、動詞以外を否定するときに使います。「～カ ソモ キ」は「～しない」という意味ですから、動作を表現するとき以外は使えません。それで「～ではない」という「～カ ソモ ネ」を使います。

MEMO

アイヌ文化の紹介

薪集めは女性と子供の仕事でした。山へ行くと枯れ枝が結構あるので、それを背負ってきて煮炊きをしました。

また、海岸に寄り木がたくさんあり、それも集めたので燃料には困らなかったといひます。

Lesson 11

「～しましょう」

例 文

1. イペ アン ロ。
ipe an ro .
食事 私たち ~しましょう
2. ヘタク パイエ アン ロ。
hetak paye an ro .
早く 行く 私たち ~しましょう
3. ポンノ シニ アン ロ。
ponno sini an ro .
少し 休む 私たち ~しましょう
4. ケラアン トペンペ ア エ ロ。
keraan topenpe a e ro .
おいしい お菓子 私たち 食べる ~しましょう
5. ウトゥラノ ホシッパ アン ロ。
uturano hosippa an ro .
一緒に 帰る 私たち ~しましょう

日本語訳

1. 食事をしましょう。
2. 早く行きましょう。
3. 少し休みましょう。
4. おいしいお菓子を食べましょう。
5. 一緒に帰りましょう。

単語

- イペ [食事]
- ロ [~しましょう]
- ポンノ [少し]
- ケラアン [おいしい]
- ア [私たち]
- ホシッパ [帰る (複数)]
- アン [私たち]
- ヘタク [早く]
- シニ [休む]
- トペンペ [甘いもの、お菓子の類]
- ウトゥラノ [一緒に]

アイヌ語の解説

人を誘って動作を促すときには、動詞の後に「ロ」を付けます。例文では、動詞と「ロ」が接続せずに、両者の間に「アン」が付いている文章もありますが、これは「私たち」という人称接辞です。人称接辞は必ず動詞に接続して使われますので、「イペ ロ アン」とはなりません。同じように「ア エ ロ」の「ア」も「私たち」という人称接辞ですが、動詞の種類が違うために前に付きます。

また、話し相手を誘うということは、二人以上で行う場合の話しをしているのですから、動詞は複数形を使います。ただし、アイヌ語の動詞には、単数形と複数形が同じものと、異なるものがありますので注意が必要です。

MEMO

アイヌ文化の紹介 水汲み

昔は川から水を汲んだのですが、井戸が作られるようになってからは、もっぱら井戸を利用しました。水汲みは主に女性と子供の仕事でしたが、大変な重労働だったため、月へ送られた怠け者の子供の物語があるほどです。

「～したい」

例 文

- 1 . ク モコン ルスイ。
ku mokor rusuy .
私 眠る ~したい
- 2 . イコロ ク コン ルスイ。
ikor ku kor rusuy .
宝物 私 持つ ~したい
- 3 . アトゥイ チ ヌカン ルスイ ワ。
atuy ci nukar rusuy wa .
海 私たち 見る ~したい よ
- 4 . ケミアンペ ク エ ルスイ ナ。
kemianpe ku e rusuy na .
おいしい物 私 食べる ~したい よ
- 5 . ク イペルスイ カ ソモ キ。
ku iperusuy ka somo ki .
私 空腹 も ない する

日本語訳

1. 私は寝むりたい。
2. 私はお金が欲しい。
3. 私たちは海が見たい。
4. 珍しくておいしい物を食べたい。
5. 私は空腹ではありません。



- モコロ [眠る]
- イコロ [宝物、お金]
- ケミアンペ [珍しくて本当においしい物]
- ルスイ [～したい]
- アトゥイ [海]
- イベルスイ [空腹]

アイヌ語の解説

動詞の後に「ルスイ」を付けると、「～したい」という表現になります。また、何かが欲しいときは、「持つ」という言葉を使って「持ちたい」にし、「欲しい」を表現します。ものの名前を表す名詞の後に「ルスイ」を付けて表現することはできません。例文のように、お金が欲しいときには「イコロ ク コンルスイ」となります。「イコロ ルスイ」とか「ケミアンベ ルスイ」では意味が通じません。

MEMO

アイヌ文化の紹介

基本的には、夫と妻と子どもとで暮らしていました。子どもが成長して結婚すると別に家を持ちます。夫婦が高齢になり、配偶者が亡くなるなどして一人になり、身の回りのことができなくなると、子どもがその面倒をみます。

簡単な言葉③「お礼」

例 文

- 1 . イヤイライケレ。
iyayraykere .
ありがとうございます
- 2 . ハープ。
hap .
ありがとう
- 3 . フンナ。
hunna .
ありがとう
- 4 . ヒオーイオイ。
hioyoy .
ありがとう
- 5 . ヒンナ。
hinna .
ありがとう

日本語訳

1. ありがとうございます。
2. ありがとう。ごちそうさま。
3. ありがとう。ごちそうさま。
4. ありがとう。ごちそうさま。
5. ありがとう。ごちそうさま。



- イヤイライケレ [ありがとうございます]
- フナ [ありがとう、ごちそうさま]
- ヒナ [ありがとう、ごちそうさま]
- ハ - フ [ありがとう、ごちそうさま]
- ヒオ - イオイ [ありがとう、ごちそうさま]

アイヌ語の解説

感謝の気持ちを表す言葉は、地方によって様々です。「イヤイライケレ」だけは、ほとんどの地方で使われますが、それ以外のお礼の言葉は地方によって異なりますので、それぞれの地域で使われている言葉を使うようにしてください。

「イヤイライケレ」はとても丁寧なお礼の言葉で、多くは男性によって使われます。女性は「ハ - プ」などを使いますが、「イヤイライケレ」を使ってもかまいません。むしろ最近は、男女の別なく「イヤイライケレ」を使います。

逆に、「ハ・フ」の方は男性はほとんど使いません。多くは、食べ物などを貰ったときに女性が使います。

MEMO

This image shows a full page of white paper with horizontal dashed lines, typical of primary school handwriting practice paper. The lines are evenly spaced and run across the entire width of the page. There are no margins, text, or other markings present.

アイヌ文化の紹介

高齢の女性が亡くなると、家の中に愛用品を並べ、家を焼く習慣がありました。これは、あの世で暮らす家も一緒に送ってあげるという、優しい気持ちをこめて送りました。

近年では少なくなりましたが、小さな家を作り、愛用品を並べて送る例もあります。